



同社主力のゴム製品の一例



業務開始前に行うラジオ体操



独自の医務室を備え
気軽に行える問診体制を整備

ミツウマ「ウニ部」（略称：ミツウニ）
を始動し海の磯焼け対策にも取り組む



■ 企業概要

- 設立：1943年
- 資本金：5,000万円
- 従業員：102名
- 事業：製造業

■ 健康経営へ取り組むきっかけ

- 2017年に健康事業所宣言を実施。もともと喫煙率が高かった折、保険会社から健康経営の勧めがあり取組を開始。

■ 健康経営に関する取組内容

- 創立以来、歴史的に健康を重視する社風であったことから、社内に独自の医務室（ミツウマ診療所）があり、看護師が隔日で、外部委託の産業医も月に1回問診対応。
- 健康診断は健診車が来社して実施し、受けてもらいやすい環境を整備。全員に受診を呼びかけ、受診率はほぼ100%。
- 禁煙外来の受診を推奨。医務室からの働きかけで、従業員自らの禁煙に向けた取組も確認。
- 社員全員に業務用スマートフォンを貸与するなどDXも推進。健康アプリの活用や、ストレスチェックも従業員がメールで回答できるサービスを利用。業務効率化と健康経営を両立。
- その他、業務開始前のラジオ体操や各種講習会を実施。

■ 取組の効果

- 喫煙者の減少を実感。喫煙率はピーク時の半分程度。
- 社員の健康意識が向上。超勤管理により、社員は仕事と趣味を両立可能に。
- 新設の「ネクストブライツ1000」を企業PRや求人活動に活用。健康経営は、磯焼け対策など新事業への発想にも好影響。